



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 三櫻工業株式会社

コード番号 6584 URL <http://www.sanoh.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹田 陽三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務管理部長 (氏名) 篠原 良幸

TEL 0280-33-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	17,786	△14.1	815	△62.4	824	△57.7	508	△54.3
23年3月期第1四半期	20,713	46.0	2,170	—	1,949	—	1,112	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 993百万円 (4.3%) 23年3月期第1四半期 952百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	13.86	—
23年3月期第1四半期	31.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	68,219	37,967	52.4
23年3月期	67,720	37,323	52.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 35,734百万円 23年3月期 35,252百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.50	—	9.50	19.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	9.50	—	9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,200	△13.3	1,050	△74.5	1,000	△73.3	450	△77.2	12.27
通期	77,900	△2.3	3,900	△41.1	3,800	△38.8	2,000	△37.6	54.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成23年5月13日の平成23年3月期決算発表時に未定としておりました平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を本資料において公表しております。本日(平成23年7月27日)公表の「業績予想(第2四半期連結累計期間)に関するお知らせ」をご覧ください。なお、平成24年3月期通期連結業績予想は、平成23年6月22日に公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」から修正していません。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	37,112,000 株	23年3月期	37,112,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	430,975 株	23年3月期	430,895 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	36,681,096 株	23年3月期1Q	35,081,496 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における経営環境は、日本では、3月に発生した東日本大震災の影響を受け、自動車業界の生産活動が制限されました。生産活動は回復基調となっておりますが、原発事故による電力不足にともない大幅な節電が求められ、円高基調も加わり、景気の先行きは不透明な状況となっております。震災の影響は、遅れて海外の生産拠点へ波及しており、予断を許さない状況が続いております。このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、自動車業界の生産活動の制限を受け、前年同期と比べて生産が大幅に減少いたしました。

その結果、当第1四半期の売上高は、177億86百万円（前年同期比14.1%減少）となりました。利益面につきましては、前期から取り組んできた構造改革によるコスト削減を継続してまいりましたが、経常利益は8億24百万円（前年同期比57.7%減少）、四半期純利益は5億8百万円（前年同期比54.3%減少）と、大幅な減益となりました。

製品別では、車輛配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレイジング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、樹脂製品（クイックコネクター、樹脂チューブ製品等）及び車輛安全製品（シートベルト用）のいずれの製品も、前年同期と比べて売上が減少いたしました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①日本

3月に発生した東日本大震災の影響を受け、取引先自動車メーカー各社の生産制限により、製品受注が大幅に減少いたしました結果、売上高は76億22百万円（前年同期比31.9%減少）、営業利益は1億30百万円（前年同期比89.4%減少）と減収減益となりました。

## ②北米・中南米

米国自動車市場は堅調に推移し、売上高は52億64百万円（前年同期比2.4%増加）、営業利益は2億57百万円（前年同期比47.1%減少）となりました。

## ③アジア

タイ、インドをはじめとする東南アジアにおける自動車市場は引き続き堅調に推移し、売上、利益ともに増加し、売上高は26億89百万円（前年同期比19.3%増加）、営業利益は4億17百万円（前年同期比29.4%増加）となりました。

## ④中国

中国自動車市場は引き続き堅調に推移いたしました。円高による為替等の影響を受け、売上高は13億85百万円（前年同期比2.8%減少）、営業利益は50百万円（前年同期比75.5%減少）となりました。

## ⑤欧州

取引先自動車メーカーからの受注が増加したことにより、売上高は8億26百万円（前年同期比17.0%増加）、営業利益は12百万円（前年同期12百万円の営業損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は682億19百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億99百万円増加しました。主な要因は現金及び預金の減少18億57百万円、売上債権の増加2億98百万円、たな卸資産の増加9億20百万円、有形固定資産の増加3億79百万円、繰延税金資産の増加2億56百万円等であります。

負債合計は302億52百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億45百万円減少しました。主な要因は仕入債務の減少10億27百万円、短期借入金の増加11億71百万円、長期借入金の減少7億73百万円、賞与引当金の増加5億49百万円等であります。

純資産は379億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億45百万円増加しました。主な要因は四半期純利益による増加5億8百万円、配当金支払による減少3億48百万円、為替換算調整勘定の増加3億21百万円、少数株主持分の増加1億63百万円等であります。

## （キャッシュ・フローの状況）

営業活動によるキャッシュフローは、税金等調整前四半期純利益が8億26百万円、減価償却費が10億18百万円、売上債権の増加による資金減が1億62百万円、たな卸資産の増加による資金減が7億74百万円、仕入債務の減少による資金減が11億66百万円、法人税等の支払による資金減が7億48百万円あったことなどにより、7億8百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産の取得による支出が11億25百万円あったことなどにより、11億96百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュフローは、短期借入の増加による収入10億94百万円、長期借入金の返済による支出7億86百万円、配当金の支払による減少3億48百万円などにより、40百万円の支出となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末と比較して18億57百万円減少し、100億82百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

日本では、3月に発生した東日本大震災により、自動車業界の生産活動が制限されておりましたが、今般回復基調となっております。しかし、原発事故による電力不足にともない大幅な節電が求められ、円高基調も加わり、景気の先行きは不透明な状況となっております。震災の影響は、遅れて海外の生産拠点へ波及しており、予断を許さない状況が続いております。

このような状況を踏まえ、平成23年5月13日の平成23年3月期決算発表時に未定としておりました平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を本資料において公表しております。本日（平成23年7月27日）公表の「業績予想（第2四半期連結累計期間）に関するお知らせ」をご覧ください。なお、平成24年3月期通期連結業績予想は、平成23年6月22日に公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」から修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,070	10,213
受取手形及び売掛金	13,347	13,645
商品及び製品	2,856	3,172
仕掛品	2,259	2,451
原材料及び貯蔵品	4,367	4,778
繰延税金資産	424	601
その他	1,384	1,872
流動資産合計	36,706	36,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,016	13,203
機械装置及び運搬具	39,836	40,532
工具、器具及び備品	6,252	6,490
土地	3,915	3,928
リース資産	199	217
建設仮勘定	1,389	1,533
減価償却累計額	△41,704	△42,622
減損損失累計額	△287	△287
有形固定資産合計	22,615	22,995
無形固定資産		
リース資産	113	108
その他	371	350
無形固定資産合計	484	457
投資その他の資産		
投資有価証券	4,968	4,945
繰延税金資産	2,438	2,517
その他	508	573
投資その他の資産合計	7,915	8,035
固定資産合計	31,014	31,487
資産合計	67,720	68,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,303	11,276
短期借入金	4,072	5,243
未払金	1,679	1,432
リース債務	82	89
未払法人税等	919	609
賞与引当金	669	1,218
製品保証引当金	315	300
その他	991	1,227
流動負債合計	21,029	21,393
固定負債		
長期借入金	1,927	1,154
リース債務	160	153
退職給付引当金	7,079	7,351
役員退職慰労引当金	202	202
固定負債合計	9,368	8,859
負債合計	30,397	30,252
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,998
利益剰余金	30,669	30,829
自己株式	△276	△276
株主資本合計	36,871	37,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,418	1,402
繰延ヘッジ損益	△15	2
為替換算調整勘定	△3,023	△2,702
その他の包括利益累計額合計	△1,619	△1,297
少数株主持分	2,071	2,234
純資産合計	37,323	37,967
負債純資産合計	67,720	68,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	20,713	17,786
売上原価	16,790	15,209
売上総利益	3,923	2,577
販売費及び一般管理費	1,754	1,762
営業利益	2,170	815
営業外収益		
受取利息	8	18
受取配当金	20	27
その他	47	46
営業外収益合計	75	91
営業外費用		
支払利息	66	52
為替差損	169	11
その他	62	19
営業外費用合計	296	82
経常利益	1,949	824
特別利益		
固定資産売却益	83	2
特別利益合計	83	2
特別損失		
前期損益修正損	1	—
固定資産除却損	68	—
投資有価証券評価損	74	—
減損損失	113	—
特別損失合計	256	—
税金等調整前四半期純利益	1,776	826
法人税、住民税及び事業税	802	407
法人税等調整額	△251	△228
法人税等合計	551	179
少数株主損益調整前四半期純利益	1,225	646
少数株主利益	114	138
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,112	508



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,225	646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△420	△16
繰延ヘッジ損益	35	17
為替換算調整勘定	111	345
その他の包括利益合計	△273	347
四半期包括利益	952	993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836	830
少数株主に係る四半期包括利益	117	163

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,776	826
減価償却費	1,042	1,018
減損損失	113	—
のれん償却額	10	—
有形固定資産除却損	68	—
投資有価証券評価損益(△は益)	74	—
受取利息及び受取配当金	△28	△45
支払利息	66	52
有形固定資産売却損益(△は益)	△83	△2
売上債権の増減額(△は増加)	△558	△162
たな卸資産の増減額(△は増加)	△722	△774
仕入債務の増減額(△は減少)	225	△1,166
その他	786	315
小計	2,768	62
利息及び配当金の受取額	28	47
利息の支払額	△64	△68
法人税等の支払額	△1,038	△748
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,695	△708
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,304	△1,125
有形固定資産の売却による収入	96	2
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	23	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,188	△1,196
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,757	2,615
短期借入金の返済による支出	△1,954	△1,521
長期借入れによる収入	471	—
長期借入金の返済による支出	△289	△786
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△316	△348
財務活動によるキャッシュ・フロー	669	△40
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	87
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,214	△1,857
現金及び現金同等物の期首残高	9,313	11,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,527	10,082

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	11,188	5,140	706	1,425	2,254	20,713	—	20,713
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,122	33	—	65	—	3,220	△3,220	—
計	14,310	5,173	706	1,490	2,254	23,933	△3,220	20,713
セグメント利益 又は損失(△)	1,223	486	△12	204	322	2,224	△54	2,170

(注) 1. セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△10百万円及びたな卸資産の調整額△47百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失に関する報告セグメント別情報)

(単位:百万円)

	日本	北南米	欧州	中国	アジア	合計
減損損失	113	—	—	—	—	113

(のれんの金額の重要な変動)  
該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)  
該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	7,622	5,264	826	1,385	2,689	17,786	—	17,786
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,986	27	—	130	—	3,143	△3,143	—
計	10,608	5,291	826	1,515	2,689	20,930	△3,143	17,786
セグメント利益	130	257	12	50	417	865	△50	815

(注) 1. セグメント利益の調整額には、たな卸資産の調整額△55百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。